

全国協議会 ニュース

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:笠原慶一
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

富山県方式で普及推進員の確保を 緊急地域雇用創出特別基金事業

この度、緊急地域雇用創出特別基金事業(平成14年度から16年度末までの3年間、総額800億円の地域交付金事業)の運用改善が行われ、その推奨事業例にドナー登録会での普及推進員の雇用が導入されました。既に、富山県では昨年9月

月からこの基金事業を活用し、4名の普及推進員を採用して大きな成果(9月から本年1月までの5カ月間で43回の登録会を実施)をあげています。

厚生労働省臓器移植対策室は、この運用改善について昨年12月に地方自治体

通知し、ドナー登録の拡大のために積極的に活用して欲しい、と話しています。全国協議会は、このことについて各地加盟団体にお知らせすると共に、地方行政担当者へ富山県での実例をあげて導入を働きかけて頂くよう、呼びかけています。

『骨髄バンクの仲介料に医療保険適用を!』 プロジェクトチーム、キャッチコピーを決める

全国協議会の保険適用PT(プロジェクトチーム)は、2月16日に第3回の会合を開き、運動のキャッチコピーを『骨髄バンクの仲介料に医療保険適用を!』

とすることを決めました。また、4月以降の全国的な取り組みとして、請願署名、地方議会での意見書採択、国会議員への要請、新聞への投稿活動、アンケート

ト結果の活用、患者家族の「声」の編集、全理事が各地団体へ積極的に説明に向かう方針などを検討しました。

最新医療情報 その④ GVHDとGVL効果

前白血病状態ともいわれる骨髄異形成症候群(MDS; Myelodysplastic syndrome)は、急性白血病と同じく造血幹細胞に異常があり、骨髄系、赤芽球系、巨核球系の3系統の血球減少や形態異常、質的異常が見られる病気です。MDSは次の5つのタイプに分類されています。

1. 不応性貧血(RA)
2. 鉄芽球性貧血(RARS)
3. 骨髄芽球の増加した不応性貧血(RAEB)
4. 骨髄芽球が悪性化し増加している不応性貧血(RAEB-t)
5. 慢性骨髄単球性白血病(CMMoL)

このうち、RA、RARSは全体の30~40%を占めますが、比較的症状が軽いので、診断確定後も無治療で経過観察のみ行う場合が多くあります。

悪性度の高いRAEB、RAEB-t、CMMoLに対しては化学療法が行なわれます。しかし、薬で治癒することも極めて困難です。根本的には同種造血幹細胞移植しかありません。MDSでは50%以上の患者さんが5年以内に亡くなります。主な死因は感染症と出血ですが、血球減少の進行と急性白血病への移行がその根本原因です。

MDS全体のうち白血病化する頻度は25~40%程度です。病型別ではRA、RARSなどは比較的頻度が低く、RAEB、RAEB-t、CMMoLなどは白血病化する頻度が高くなっています。

特徴として、骨髄不全死は全経過を通じて起こるのに対し、白血病化は一定時期以降はほとんどみられなくなることがあげられます。

国立大病院の組織再編に関する 請願署名の取り組みについて

全国協議会では、現在「国立大病院中央診療部門の組織再編の再検討を求め、請願署名」に取り組んでいます。文部科学省は、薬剤部、検査部、輸血部、放射線部などの中央部門を診療支援部に統合し、各部の部長を専門家ではなく兼務とするなど、中央部門の専門性を認めず、実質的に解体する組織再編を進めよう

としています。この請願署名は今回の組織再編について、国会などの論議を通じて再検討するよう求めるものです。骨髄移植との関係では、輸血部に専門の教官がいなくなるなどの影響が懸念されます。現在3月20日を締切として、各地団体に取り組みを要請していますので、ぜひ積極的な取り組みをお願いします。

佐藤さち子患者支援基金休止のお知らせ

「佐藤さち子患者支援基金」は、1995年から経済的な問題により骨髄移植等の造血幹細胞移植を受けることができない患者に対し、経済的な支援を行うことを目的として昨年末までに80有剰の患者支援金の給付を行ってまいりました。

しかし、昨今の厳しい経済情勢を反映し、唯一の財源である寄付金収入が減少し、このたび基金残高が枯

渇する事態に至りました。つきましては、誠に残念ではありますが、1月20日をもって当分の間、給付事業を休止させていただきますことをお知らせいたします。

今後、一日も早く事業を再開すべく基金の積み増しに努めますとともに、皆様のご支援・協力を心からお願い申し上げます。

役員選考委員会を設置

全国協議会理事会は、今回の第2回役員選挙で立候補者がなかった会長、副会長、理事(九州ブロック2名、東海北陸ブロック1名)、監事の選考をするための役員選考委員会を設置しました。

2月16日に開かれた第1回選考委員会は、委員長に畠山氏を選出し、今後の対

応について協議しました。選考委員会のメンバーは次のとおりです。

委員長・畠山茂房
委員・菅 早苗、木村 紀、品川保弘、福岡豊一、名川和志、金剛 毅、坂田浩章、村上美智子

骨髄バンクの最新情報をお知らせする

- 臨時理事会、臨時評議員会が開催されました
1月31日(金)、財団臨時理事会、臨時評議員会が開催されました。常任理事会の設置については、原案に文言等の修正をした上で議決、同意がなされ、今後改めて所管の厚生労働省と調整することとされました。未収金債権の回収作業については、法的措置をとることを想定した今後の具体的方針案について審議され、原案どおり議決、同意されました。
- 1月のドナー登録数、推進月間に続き2000人超! 固定窓口今期最高の登録
1月の月間ドナー登録者数は2085人で、取消者数は683人、実質増加数は1402人でした。登録会は、100回(うち献血併行94回)が実施され、合計922人の方にご登録いただきました。一方、血液センターや保健所などの固定窓口の登録者は、1163人と前年比135.2%で、4月以来9カ月ぶりに1000人を上回り今年度最高の結果となりました。全体では推進月間の12月、10月について今年度3番目の実績となりました。
- ドナー登録推進について、国から地方自治体への通知・要請相次ぐ
厚生労働省は、12月末に各地方自治体に対し、

- 骨髄バンクの骨髄提供希望者登録推進事業費の国庫補助金廃止と一般財源化に伴う依頼通知を发出了しました。次いで、緊急地域雇用創出特別基金事業の運用改善の通知を出し、「ドナー登録会等に骨髄ドナー普及推進員を派遣し、骨髄ドナー登録者の拡大を図る事業」を推奨事業のひとつとして明記しました。
- さらに、1月30日、厚生労働省で開催された「全国健康関係主管課長会議」(各都道府県、政令市、特別区の担当課長が参加)において、健康局臓器移植対策室長は、来年度予算の概要及び上記に関する説明を行い、各参加者へ今後の一層の協力方を要請しました。
- 「末梢血幹細胞移植(血縁者間)ドナーが白血病を発症」の報道について
2月10日(月)、「多発性骨髄腫の弟へ末梢血幹細胞を提供した姉(63歳)が、提供後1年を経過した2002年11月に、白血病を発症し肺炎を併発したため同月末に死亡、白血球増殖因子・G-CSF投与による影響か?」というニュース報道がありました。
- 日本造血細胞移植学会PBSCT小委員会は、1月21日付けで各施設へ「ドナーフォローアップの緊急安全情報」を発出し、報道同日、同学会は記

- 者会見で「白血病を発症した本事例と、骨髄増殖性疾患を発症した事例の2件について、調査班による原因究明にあたる」ことを発表しました。
- 現在、骨髄バンク(非血縁者間)では、末梢血幹細胞移植はまだ採用していません。実施する場合の検討に入る時期にきておりましたが、こうした事態を受け、国の審議会での論議、学会の調査等を見守りつつ、慎重に検討を行っていく予定です。
- 東京都議会で「ドナー登録推進、さい帯血バンク支援等」が論議
2月12日(水)、公明党都議会を代表して、石井議員(議員団幹事長)が、骨髄バンクドナー登録推進等について質問と、具体策の提案を行いました。これに対し東京都健康局長からは「献血併行型登録の実施を区市町村に積極的に働きかけていく。普及啓発およびドナー登録の説明・受付要員不足の解消のため、緊急地域雇用創出特別基金を活用するよう検討する。都立病院として、さい帯血移植に積極的に対応する。」と積極的な答弁がありました。今後、全国の道府県議会においても、こうした論議が行われることが期待されます。

骨髄バンクNOW

- 財団各委員会、開催予定
公開委員会の傍聴をご希望の方は事前に財団事務局まで、お申込みください。
- 医療委員会 公開 3/15(土) 11:00~16:00
企画管理委員会 公開(一部非公開) 3/22(土) 13:00~
理事会・評議員会 公開 3/28(金)
理事会14:00~・評議員会15:30
- 日本骨髄バンクの現状(2003年1月末現在)

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

骨髄バンクボランティアダイヤル
フリーダイヤル
バンクに とうろく
0120-892-106

心からのご寄付を ありがとうございました

1月21日～2月16日

宇治原睦	現金	20,000円
浅井み系	現金	1,000円
株式会社タクトコーポレーション	現金	30,000円
ヤマダヤスヒロ	現金	9,370円
匿名	切手	666円
(財)日本教育公務員弘済会京都支部	現金	16,597円
鈴木純子	現金	1,000円
金澤信彦	現金	5,000円
匿名	現金	405円
大谷貴子	現金	18,000円
渡辺成幸	現金	3,000円
村上順子	現金	2,580円
飯島孝枝	現金	1,000円
田島香雪	現金	1,940円
中空知5LOM連合	現金	49,096円
鎌田麗子	現金	2,000円
(株)ドラッグトマト	現金	61,569円
大橋好	現金	50,000円
山本清美	現金	700円
●佐藤さち子患者支援基金		
北海道骨髄バンク推進協会札幌支部	現金	28,055円
中空知5LOM連合	現金	50,000円
阿江秀雄	現金	1,000,000円
●あやちゃん基金		
中空知5LOM連合	現金	50,000円
●白血病患者支援基金・募金箱		
渡辺材木店	現金	2,973円
谷口明子	現金	3,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会



「イオンの社員が毎月行っている社会貢献活動に今回は

釧路

それは、1本の電話から始まりました。電話の相手は、イオン釧路昭和ショッピングセンターの副店長。

「イオンの社員が毎月行っている社会貢献活動に今回は、いいと思います。」と募金箱を手にお客様に声をかけているではありませんか。募金が終わる午後6時には、手が疲れるほどに重たくなった募金箱を副店長に引き継いで、なにやらホッとした気分です。

副店長、従業員の皆さん、そして募金いただいた大勢の皆さん、本当にありがとうございました。(小川)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

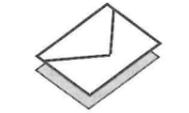
4日間どのような成果が出るかを楽しみに初日を終わりました。(大草)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

各地の たより



各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

イオン 骨髄バンク募金活動 特集

イオングループは1月21日からの1カ月間を骨髄バンク支援月間とし、全国のイオングループの店舗で募金活動が展開して下さいました。各地の取り組みを紹介します。

募金活動を自主的にしていただけるなど、今までの活動の中で経験がありませんもの。

しかし、本当にこれが実施されたのです。2月11日、パレンタインデー直前の祝日とあって、店内はお客様でごった返し、店員さんたちもとても忙しそうです。

ですが、ユニフォーム姿の店員さんたちが交代で募金活動にやってきました。ユニフォームの上に骨髄バンクのたすきを掛けて、「骨髄バンクの活動にご支援をお願いいたします。」と募金箱を手に、お客様に声をかけているではありませんか。

募金が終わる午後6時には、手が疲れるほどに重たくなった募金箱を副店長に引き継いで、なにやらホッとした気分です。

副店長、従業員の皆さん、そして募金いただいた大勢の皆さん、本当にありがとうございました。(小川)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

静岡



ジャスコ清水店が企画した「白血病患者支援募金」は、「静岡骨髄バンクを推進する会」との調整で2月13日から19日までの5日間となり、まず初日としてパレンタイン前日の2月13日に募金活動を行いました。

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

姫路

姫路地区骨髄バンク推進センターは、イオングループの骨髄バンク支援月間への協力として、2月11日(イオン感謝デー)に、姫路リバーシティにおいて募金活動に参加しました。当日は午前中4名、午後4名、計8名のボランティアが、募金をして下さった方を中心にパンフレットの「ギフト・オブ・ライフ」を配布して骨髄バンクへの支援を呼びかけました。3人の子供に募金をさせたお母さんが「実はいとこが最近骨髄移植をうけましたが、残念ながら亡くなりました。でも、皆さん頑張ってくださいね。」と励ましてくださりました。

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

お客さんの多い時間を考えて11時より15時まで声を張り上げてきました。始めは天気も良かったので外で活動をしていましたが、やはり外でお願いするよりは店内でお願いしたほうが成果は出たような気がします。(13日は、さすがにチョコを買いに来るお客さんが多かったです。皆さんおつりを募金してくださいました。)

福岡

メッセー展と音楽会

1月28日から2月2日まで、九州骨髄バンク推進連絡会議では骨髄バンクキャンペーンを福岡県との共催で開催しました。期間中には「精一杯生き抜いた子たちからのメッセー展」と題し、喜瀬浩之君の絵画50点、小野寺守君のメッセー展46点と写真、丹後光祐君の写真30点を展示しました。

最終日には、「絵本のような音楽会」と題し、影絵音楽会「金色のくじら」を上演しました。これは原作をもとに、影絵・音楽・語りを取り入れたもの(約40分)を、地元の脚本家の方に書き下ろしていただいたものです。心地よいバイオリンとピアノの音色、ファンタジックな細かい作業の施された影絵、そして迫力のある語り、子どもから大人までが絵本のような音楽会に引き込まれ、静かに見入っていました。

この二つのイベントには、遠く隣県からも含め、約800名もの参加がありました。(守田智佳子)

リレー紹介

ボランテアの仲間たち

2年前よりボランテアに参加、幼稚園・小中学校のPTAの集会等で、体験談を語って日々啓蒙活動に頑張っておられます。料理屋の女将として忙しい中、ご主人や家族の理解を得て、奈良県内各地を精力的にボランティア活動で走り回っています。

「悲しみ」、「不安」、「辛さ」を感じた奥村さんは、あの時少しでも「前向きなアドバイス」や「体験談を通して、元気に奮闘中です。」

「2年前よりボランテアに参加、幼稚園・小中学校のPTAの集会等で、体験談を語って日々啓蒙活動に頑張っておられます。料理屋の女将として忙しい中、ご主人や家族の理解を得て、奈良県内各地を精力的にボランティア活動で走り回っています。」

第28回理事会報告

2月16日・全国協議会事務局

- 加藤・退会・会費減免・後援等の承認について
- 全国協議会の財政見直しと今後の対策について
- 2003年度総会について
- 保険適用に向けた取り組みについて
- 15年度移植対策関係予算への対応について
- 雇用創出特別基金事業への対応について
- 新年度財団役員等への参画について
- 「白血病と言われたら」冊子改訂版の発行について
- MAMOの額装について
- 財団との協議報告について
- 対策室長との協議報告について
- 佐藤さち子患者支援基金関連について
- CFカード アクニティカードについて
- JASチャリテイマイルについて
- 協議会ニュース「各地のたより」の編集方針、投稿方法について
- あやちゃん展ミニセットについて
- 厚生科学審議会疾病対策部会造血幹細胞移植委員会について

記事の訂正とお詫び

前号の全国協議会ニュース(2月1日付第128号)の1面で、次の誤りがありました。訂正し、お詫びいたします。

- ・「第2回役員選挙立候補者一覧」中の推薦理事候補者の定数…11名は14名の誤り
- ・同、公募理事の定数…9名は8名の誤り
- ・「5月全国大会と総会を横浜で開催」の記事中の日付…5月18日は5月17日の誤り
- ・同、翌19日は18日の誤り

